

パネルディスカッションの進め方(案)

➤ パネル討論からの登壇者によるショートプレゼンテーション(各10分程度)

大塚直(早稲田大学法学学術院教授、日本学術会議第一部会員)

岸本康夫(JFEスチール株式会社スチール研究所研究技監、日本学術会議第三部会員)

➤ 総合討論(計60分、3テーマ×15分+総合的な質疑応答15分)

各々における学術の役割を意識しつつ下記テーマを軸に討論

1) 国内外の情勢を踏まえた「賢明かつ公正な移行」加速の必要性の意識共有における課題

2) 地域に根差した産官学連携の取り組み:

化石資源依存度の高いHard-to-abate産業、バイオマス利活用などを例として

3) 循環経済を活かし自然再興と調和する:トレードオフを認識したうえでの同時解決